



株式会社すま江
〒904-2173 沖縄県沖縄市比屋根4丁目1-3
TEL : 098-927-6741 (代)

原料規格書

原料名：沖縄県産テリハボク種子油 (化粧品)

本品は、沖縄県産のテリハボク科テリハボク (*Calophyllum inophyllum* L.) の種子から得られる油脂である。

製造方法

沖縄県産のテリハボク (*Calophyllum inophyllum* L.) の種子を割ってカーネルを取り出し、天日で乾燥させた後に、熱をかけずに圧搾して油を抽出して静置した後、上澄みをろ紙で複数回ろ過して製品とする。

性状

本品は淡黄色の粘性の油脂で、わずかに特有のにおいがある。

用途

化粧用オイル、マッサージオイル

酸価

50 mg KOH/g 以下

過酸化価

20 meq O₂/kg 以下

けん化価

185 ~ 235 mg KOH/g

よう素価

80 ~ 120

不けん化物

1.5 %以下

水分

0.1 %以下

屈折率 (25℃)

1.30 ~ 1.50

比重 (25℃)

0.91 ~ 0.95 g/ml

純度試験

(1)重金属 (Pb として)

5ppm 以下

(2)ヒ素 (As₂O₃ として)

0.1ppm 以下

組成

成分	含有量
----	-----

テリハボク種子油	100%
----------	------

脂肪酸組成

成分	含有量
----	-----

C16:0 パルミチン酸	7 ~ 15 %
--------------	----------

C18:0 ステアリン酸	10 ~ 16 %
--------------	-----------

C18:1 オレイン酸	25 ~ 48 %
-------------	-----------

C18:2 リノール酸	20 ~ 34 %
-------------	-----------

C18:3 リノレン酸	2%以下
C20:0 アラキジン酸	1%以下
C20:1 エイコセン酸	1%以下

皮膚への刺激性

「24時間クローズドパッチテストによるヒト皮膚一次刺激性試験」を実施（実施機関：株式会社 SOUKEN、期間：2018年8月27日～2018年8月29日）。結果は、評点0から4.0の6段階指数評価において0.0（安全品）の判定。

保証期限

製造後3年間

保管方法

高温、直射日光を避け、密封状態にて保管する。

制定日	2018年9月10日
改訂日	

安全データシート (SDS)

1. 製品および会社情報

会社名 : 株式会社すまエコ
住所 : 沖縄県沖縄市比屋根 4 丁目 1-3
電話番号 : 098-927-6741
緊急連絡先 : 上記と同じ
作成日 : 2018 年 9 月 10 日
整理番号 : SE18002
製品名 : テリハボク種子油
推奨用途 : 化粧品原料、マッサージオイル等

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性 : 引火性液体 (区分外)
健康に対する有害性 : 区分外
絵表示またはシンボル : 該当なし。
注意喚起語 : 該当なし。
危険有害性情報 : 該当なし。
注意書き : 該当なし。

3. 組成、成分情報

化学品・混合物の区別 : 単一物質
化学名 : テリハボク種子油
別名 : カノフィラムイノフィラムシードオイル
(Calophyllum Inophyllum Seed Oil)
CAS No. : 223548-12-7
成分および含有量 : テリハボク種子油 100% (本品は、テリハボクの種子から採取される植物油であり、不飽和脂肪酸が約 70~80%、飽和脂肪酸が約 20~30%の脂肪酸グリセライドである。
化学式および分子量 : 不定
官報公示整理番号化審法 : 適用外 (天然物のため)

官報公示整理番号安衛法 : 適用外 (天然物のため)
化学式および分子量 : 不定

4. 応急措置

吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気の場合へ移動すること。気分が悪い時は、医師の手当てや診断を受けること。

皮膚に付着した場合 : 皮膚刺激が生じた場合には、医師の手当てや診断を受けること。

目に入った場合 : 直ちに流水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続ける。眼の刺激が持続する場合は、医師の手当てや診断を受けること。

飲み込んだ場合 : 口の中をすすぐこと。気分が悪い時は、医師の手当てや診断を受けること。

予想される急性症状および遅発性症状 : 情報なし

5. 火災時の措置

消火剤

小火災 : 二酸化炭素、粉末消火剤、散水、泡消火剤

大火災 : 散水、噴霧水、泡消火剤

使ってはならない消火剤 : 棒状注水

特有の危険有害性 : 可燃性であること。

特有の消火方法 : 危険でなければ、火災区域から容器を移動する。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。消火後も大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置 : 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。直ちにすべての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。関係者

	以外の立ち入りを禁止する。作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
環境に対する注意事項	: 河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。
回収、中和	: 少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。
封じ込めおよび浄化の方法	: 危険でなければ漏れをとめる。
二次災害の防止策	: すべての発火源を速やかに取り除く。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策	: 「8: 暴露防止および保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気、全体換気	: 局所排気装置を設置する。
安全取扱い注意事項	: 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずるなどの取扱いをしてはならない。
接触回避	: 酸化剤との接触を避ける。

保管

技術的対策	
保管場所	: 壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作ること。
適切な保管条件	: 容器を密閉すること。直射日光を避け、換気のよい涼しい所で、施錠して保管すること。
混触危険物質	: 強酸化剤
容器梱包材料	: ガラス、スチール、ステンレス

8. 暴露防止および保護措置

管理濃度	: 設定なし。
許容濃度	
日本産業衛生学会	: 設定なし。
ACGIH	: 設定なし。

設備対策 : この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗顔器と安全シャワーを設置すること。

保護具

呼吸器の保護具 : 適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具 : 適切な保護手袋を着用すること。

目の保護具 : 適切な保護眼鏡を着用すること。

皮膚および身体の保護具 : 適切な顔面用保護具を着用すること。

衛生対策 : 取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的および化学的性質

物理的状态、形状、色など : 淡黄色の粘性の液体

臭い : わずかに特有のにおいがある。

pH : データなし。

融点 : 約 20℃

沸点 : データなし。

引火点 : 約 320℃

爆発限界 : データなし。

蒸気圧 : データなし。

蒸気密度 : データなし。

比重 (相対密度) : 0.91~0.95 (25℃)

屈折率 : 1.30~1.50 (25℃)

溶解度 : 水にほとんど溶けない。エタノールに溶けにくい。ベンゼン、石油エーテルに溶ける。

オクタノール/水分配係数 : データなし。

自然発火温度 : データなし。

分解温度 : データなし。

10. 安定性および反応性

安定性 : 通常の手扱いにおいては安定である。

危険有害反応可能性 : 通常の手扱いでは、危険有害な反応は起こらない。

避けるべき条件 : 熱、高温、日光、裸火、スパーク、静電気、その他の着火源との接触。

混触危険物質 : 強酸化剤

危険有害な分解生成物 : 該当情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性 : データなし。

皮膚腐食性、刺激性 : 「24時間クローズドパッチテストによるヒト皮膚一次刺激性試験」での評点0から4.0の6段階指数評価において0.0(安全品)の判定。

眼に対する重篤な損傷、刺激性 : データなし。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 : データなし。

生殖細胞変異原性 : データなし。

発がん性 : データなし。

生殖毒性 : データなし。

特定標的臓器、全身毒性－単回暴露 : データなし。

特定標的臓器、全身毒性－反復暴露 : データなし。

吸引性呼吸器有害性 : データなし。

12. 環境影響情報

生態影響 : データなし。

残留性、分解性 : データなし。

生態蓄積性 : データなし。

土壤中の移動性 : データなし。

オゾン層に対する有害性 : データなし。

13. 廃棄上の注意

産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。焼却法は、珪藻土等に吸収させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。または焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。これを含む排水は活性汚泥などの処理により、清浄にしてから排出すること。

14. 輸送上の注意

国内規制 (適用法令)

陸上規制 : 特段の規制なし (非危険物)。

海上規制 : 特段の規制なし (非危険物)。

航空規制 : 特段の規制なし (非危険物)。

国連番号	: 該当しない。
国連分類	: 該当しない。
品名	: 該当しない。
海洋汚染物質	: 該当しない。
特別の安全対策	: 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

化学物質管理促進（PRTR）法	: 該当しない。
毒物および劇物取締法	: 該当しない。
労働安全衛生法	: 該当しない。
消防法	: 該当しない。

16. その他の情報

記載事項のうち、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険、有害性の評価は、現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作製しておりますが、すべての資料を網羅したわけではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。